

2023 年度 若手・女性研究者奨励金 公募要領

1. 趣旨

本奨励金は、「若手研究者奨励金」と「女性研究者奨励金」の2つの奨励金制度で構成されています。本奨励金により、研究者が自ら考案した研究計画を実現する機会を提供することで、私立の大学、短期大学及び高等専門学校（以下「私立大学等」という。）が取り組む特色ある多様な教育・研究を振興し、次世代の担い手となる人財を育成することを目的としています。

2. 奨励金の種類

奨励金は次の二種類とする。

(1) 若手研究者奨励金

対象年齢を39歳以下とし、若手研究者の研究意欲の向上を図り、活躍促進に寄与することで、次世代を担う人財の育成を図ることを目的としています。

(2) 女性研究者奨励金

年齢制限を設けず、ダイバーシティ推進の中心的な役割が期待される人財の育成を図ることを目的としています。

3. 応募数

(1) 各奨励金に対して、1学校につき1件の応募が可能です。

※学校法人の中に複数の私立大学等を設置している場合は、各奨励金に対して学校単位で1件の応募が可能です。

(2) 同一者が両方の奨励金に応募することはできません。いずれかを選択し、応募してください。

(3) 私学事業団が実施している「若手・女性研究者奨励金 寄付金付き自動販売機」の設置にご協力をいただいている学校法人は、寄付者特典として、いずれかの奨励金について、応募を1件追加することができます。

※学校法人の中に複数の私立大学等を設置している場合、設置台数1台につき、いずれか1校に応募枠を1枠追加することができます。1校に応募枠を2枠追加することはできません。

4. 対象となる研究

(1) 私立大学等（私立の大学、短期大学、高等専門学校をいう。以下同じ。）に在籍する助教又はポスト・ドクター、もしくは講師（ただし、医歯薬学部を除く）の職にある者が一人で行う研究であること。

(2) 基礎研究・応用研究を問わず、すべての研究を対象とします。分野の限定はしません。

5. 対象となる研究者等

次の要件をすべて満たすことが必要です。

(1) 若手研究者奨励金

- ① 令和5年4月1日現在、39歳以下（昭和58年4月2日以降に生まれた者）であること。
- ② 令和4年10月1日現在、助教又はポスト・ドクター（一部の講師を含む）の職にある者
- ③ 令和5年4月1日現在、助教又はポスト・ドクター（一部の講師を含む）の職にあることが見込まれる者
- ◇ 応募後に、職位に変更があった場合は、必ず本事業団にご連絡ください。
昇格により職位に変更が生じ、交付対象年度である令和5年4月1日現在の職位が、対象要件から外れた場合は、研究者の人財育成を図る本奨励金の趣旨から、採択を取り消しとさせていただきます。
- ④ 令和5年4月1日現在、応募時の学校法人に在籍していること
- ◇ 応募にあたっては、応募対象の研究者が令和5（2023）年度も引き続き当該学校法人に在籍し、応募研究を遂行することが見込まれる者であることをご確認ください。
応募対象の研究者が他の学校法人に移籍した場合に、本奨励金を移籍先の学校法人に移管することはできません。
- ⑤ 各職位については、以下の要件に該当していること
- ◇ 助教にあっては、本務教員給を支給されている者
- ◇ ポスト・ドクターにあっては、兼務職員給を支給されている者で、以下のア、イのいずれかの要件及びウの要件を満たしていること（私立大学等経常費補助金の加算の対象となる者）。
- ア. 博士の学位を取得した者
- イ. 人文・社会科学系の分野にあっては、当該年度の前年度までに博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、当該年度の4月1日現在大学院に在籍していない者で、博士の学位を取得した者に相当する能力を有すると認められる者
- ウ. 雇用等に係る規程が整備されていること
- ◇ 講師にあっては、本務教員給を支給され、研究に取り組む者であって、令和4年4月1日現在、当該法人に講師として採用されて10年以内（産休、育休の期間を除く）の者
- ただし、医歯薬学部に所属する者からの応募については、助教又はポスト・ドクターに限ります。
- ⑥ 令和4年10月1日現在、科学研究費補助金（基金分を含む）に、新規・継続にかかわらず採択されていない者（研究分担者を含む）

- ⑦ 令和4年10月1日現在、日本学術振興会特別研究員ではない者
- ⑧ これまで同じ研究課題で若手・女性研究者奨励金に採択されていない者

(2) 女性研究者奨励金

- ① 令和4年10月1日現在、助教又はポスト・ドクター（一部の講師を含む）の職にある女性であること。
- ② 令和5年4月1日現在、助教又はポスト・ドクター（一部の講師を含む）の職にあることが見込まれる者
 - ◇ 応募後に、職位に変更があった場合は、必ず本事業団にご連絡ください。
昇格により職位に変更が生じ、交付対象年度である令和5年4月1日現在の職位が、対象要件から外れた場合は、研究者の人財育成を図る本奨励金の趣旨から、採択を取り消しとさせていただきます。
- ③ 令和5年4月1日現在、応募時の学校法人に在籍していること
 - ◇ 応募にあたっては、応募対象の研究者が令和5（2023）年度も引き続き当該学校法人に在籍し、応募研究を遂行することが見込まれる者であることを、ご確認ください。
応募対象の研究者が他の学校法人に移籍した場合に、本奨励金を移籍先の学校法人に移管することはできません。
- ④ 各職位については、以下の要件に該当していること
 - ◇ 助教にあつては、本務教員給を支給されている者
 - ◇ ポスト・ドクターにあつては、兼務職員給を支給されている者で、以下のア、イのいずれかの要件及びウの要件を満たしていること（私立大学等経常費補助金の加算の対象となる者）。
 - ア．博士の学位を取得した者
 - イ．人文・社会科学系の分野にあつては、当該年度の前年度までに博士課程に標準修業年限以上在学し、所定の単位を修得し、当該年度の4月1日現在大学院に在籍していない者で、博士の学位を取得した者に相当する能力を有すると認められる者
 - ウ．雇用等に係る規程が整備されていること
 - ◇ 講師にあつては、本務教員給を支給され、研究に取り組む者であつて、令和4年4月1日現在、当該法人に講師として採用されて10年以内（産休、育休の期間を除く）の者
ただし、医歯薬学部に所属する者からの応募については、助教又はポスト・ドクターに限ります。

⑤ **令和4年10月1日現在**、科学研究費補助金（基金分を含む）に、新規・継続にかかわらず採択されていない者（研究分担者を含む）

⑥ **令和4年10月1日現在**、日本学術振興会特別研究員ではない者

⑦ これまで同じ研究課題で若手・女性研究者奨励金に採択されていない者

6. 対象となる研究期間

令和5年度の研究（令和5年4月1日から令和6年3月31日までに行う研究）とします。

7. 奨励金の交付総額

令和5年度に交付する奨励金総額は3,000万円（予定）、1件あたりの交付額は**40万円**を予定しています。

8. 応募に必要な提出書類等

以下(1)～(3)の様式を、本事業団電子窓口の公開電子ファイル一覧のフォルダ（「寄付金課」⇒「若手・女性研究者奨励金」⇒「2023年度 公募様式等」）から取得し、作成、提出してください。

(1) 2023年度 若手研究者奨励金 研究計画調書（様式1～2-3：若手）

（又は2023年度 女性研究者奨励金 研究計画調書（様式1～2-3：女性））

(2) 事務担当者名簿

(3) 応募書類記入チェックリスト

※書類の提出方法については、6頁の「15. 応募書類の提出方法」をご覧ください。

9. 対象経費

本奨励金の対象となる事業の経費（以下「対象経費」という。）は、応募学校法人が令和5年度中に支出する当該研究に要する教育研究経費（旅費等）及び設備の取得費（図書、備品等）とします。なお、研究者の給与や当該研究に直接必要とは認められない机・椅子等の什器の取得は経費の対象にはなりません。

本奨励金は、趣旨にご賛同いただける個人や企業等法人など、広く一般からの貴重な寄付により成り立っています。当該研究以外への使用や架空取引等の不適切な使用とならないよう、使途については、学校法人の適正な管理及び執行をお願いします。

なお、本奨励金は応募研究課題にかかる対象経費が交付額以上であることを想定しています。残預金（未使用分）が生じた場合は、原則として返還となります。ので、計画的な経費の執行をお願いします。

本奨励金の不適切な使用等が行われた場合は、返還や応募資格の停止など、厳正な措置を講じることになりますので、ご注意ください。

詳細は、「2023年度 若手・女性研究者奨励金」の公募等にかかる Q&A 33、34 をご覧ください。

10. 審査方法

提出された研究計画調書をもとに、「若手・女性研究者奨励金選考委員会」において、①研究の特色・独創性、②研究計画・方法、③将来性・成長性 等を総合的に評価し、決定します。

11. 採択の内定時期

採択・不採択の通知については、令和5年3月上旬に当該学校法人に送付します。あわせて、採択された学校法人に対し、交付の申請手続きについてご案内しますので、期日（4月上旬を予定）までに交付の申請を行ってください。

なお、前回の採択状況は、下表のとおりです。

【参考】2022年度 若手・女性研究者奨励金 採択状況

区 分			若手研究者奨励金		女性研究者奨励金		若手・女性研究者奨励金 合計	
			応募 (件)	採択 (件)	応募 (件)	採択 (件)	応募 (件)	採択 (件)
内	学校種別	大 学	125	36	119	37	244	73
		短期大学	11	1	14	1	25	2
		高等専門学校	0	0	0	0	0	0
訳	男女別	男 性	102	28	—	—	102	28
		女 性	34	9	133	38	167	47
合 計			136	37	133	38	269	75

※ 交付額は一律1件40万円

12. 奨励金の交付時期

令和5年5月下旬に学校法人に交付（送金）予定です。

13. 会計処理

奨励金の交付が決定した場合は、令和5年度の予算書及び計算書類において、大科目「補助金（収入）」に小科目「若手・女性研究者奨励金（収入）」を設けて当該金額を計上してください。

14. 実績報告

奨励金が交付された場合、令和5年度決算終了後に「実績報告書」を提出していただきます。あわせて、「研究レポート」を提出していただき、研究の結果等を、本奨励金への支援者（寄付企業法人等）をはじめ、広く社会一般に公開します。

提出時期・様式等については、令和6年5月末頃に改めて通知します。

15. 応募書類の提出方法

- (1) 様式1～2-3、事務担当者名簿及び応募書類記入チェックリストの電子ファイルを本事業団電子窓口の公開電子ファイル一覧のフォルダ（「寄付金課」⇒「若手・女性研究者奨励金」⇒「2023年度 公募様式等」）へ様式ごとに提出してください。
- (2) 必ず、今年度電子窓口から取得した様式に記入し、提出してください。前年度以前に取得した様式を提出することはできません。
- (3) 「若手研究者奨励金」と「女性研究者奨励金」の応募書類は、別ファイルとなっています。両方を提出する場合、それぞれ様式を取得し、提出してください。
- (4) 同一種類の奨励金は、それぞれ法人単位での提出となります。同一法人で同一種類の奨励金に複数件の応募をする場合は、形式（Word、Excel）ごとに法人で一つにまとめて提出してください。（次頁もご参照ください）
- (5) 訂正等で再提出する場合、最初の提出と同様に再度電子窓口から提出していただくことで、再提出したファイルに上書きされます。

○ 提出期限 令和4年10月28日（金曜日）

○ 提出先 私学事業団電子窓口

○ 問い合わせ先

助成部 寄付金課 TEL 03 (3230) 7319・7320

FAX 03 (3230) 8223

E-mail kifukin@shigaku.go.jp

若手研究者奨励金又は女性研究者奨励金に同一法人で
複数件応募する場合の研究計画調書等の作成について

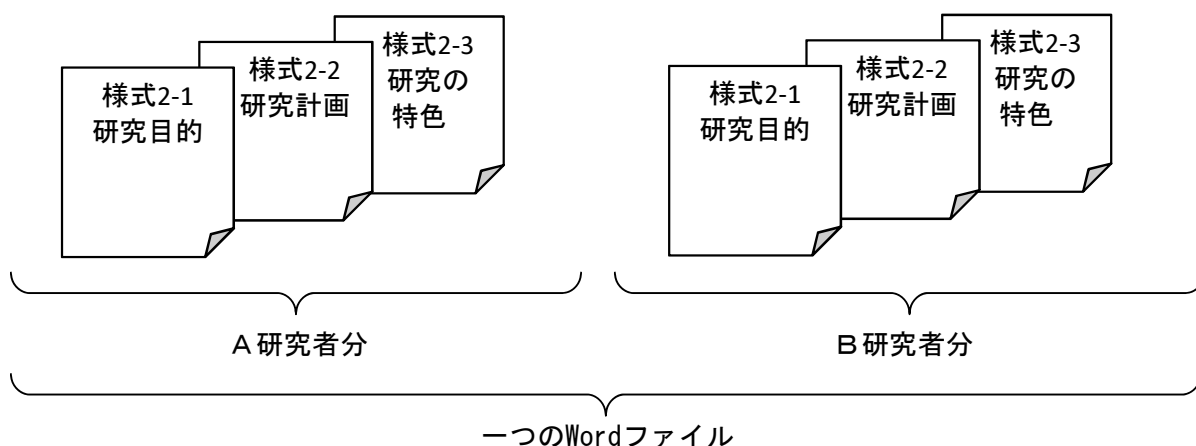
電子窓口は、法人単位での提出となります。同一法人で複数の研究者が応募をする場合には、ファイル形式ごとに法人で一つに取りまとめてください。

別々のファイルで提出しますと、先に提出したファイルが、後に提出したファイルに上書きされてしまいますので、ご注意ください。

※「若手研究者奨励金」と「女性研究者奨励金」は、それぞれ別のファイルとなります。

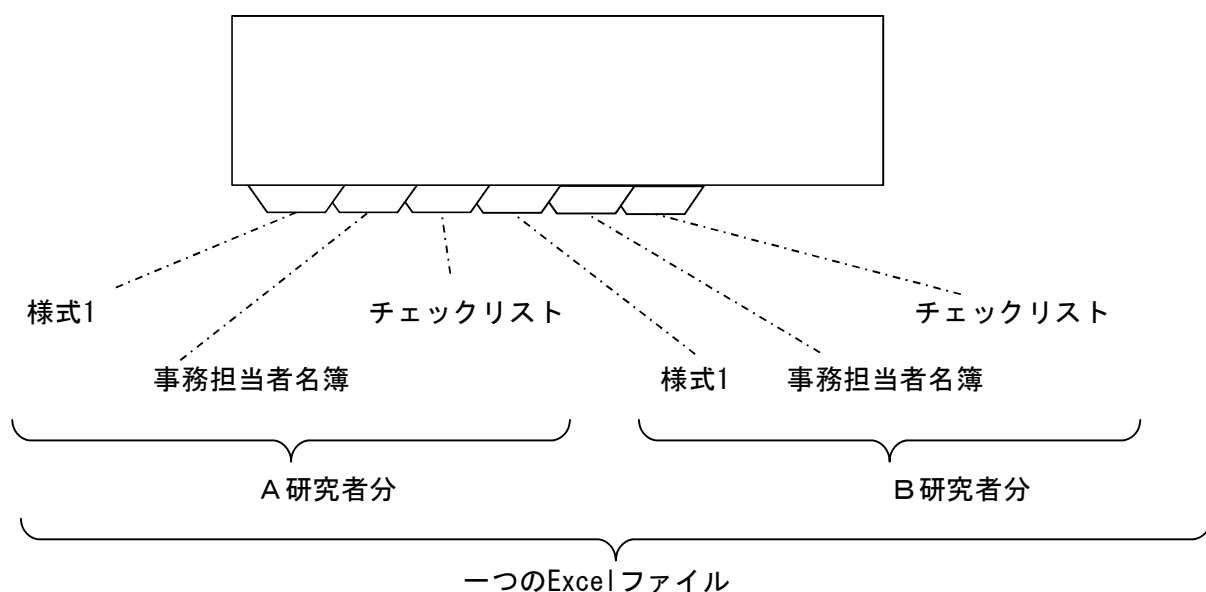
●Word形式のファイル

下図を参考に、研究者ごとに作成した応募書類を、一つのWordファイルにまとめてください。
なお、ページ番号は付さないでください。



●Excel形式のファイル

シートをコピーし、シート名に学校名または研究者名を付してください。



若手・女性研究者奨励金 研究計画調書 記入要領

- ※「若手研究者奨励金」と「女性研究者奨励金」共通の記入要領です。
- ※「若手研究者奨励金」と「女性研究者奨励金」は、別の電子ファイルとなります。それぞれ様式を取得し、作成、提出してください。
- ※提出にあたっては、私学事業団電子窓口を利用してください。
- ※提出書類となる以下の様式等は、私学事業団電子窓口の公開電子ファイル一覧のフォルダ（「寄付金課」⇒「若手・女性研究者奨励金」⇒「2023年度公募様式等」）から取得してください。
- ※公募等にかかるQ&Aも掲載しております。あわせてご参照ください。
- ※ライフサイエンスに関する研究については、法令、指針等で必要な手続きが定められています。12頁の「生命倫理・安全にかかる指針等について」をご確認ください。
- ※各様式 右下の「事業団使用欄」は入力や削除をしないでください。

○ 研究計画調書

〔様式1〕

※記入欄に初期設定されているフォント、サイズ（MS明朝、11ポイント又は12ポイント）で記入してください。なお、様式1に関しては、文字数の関係で枠に収まらない場合にフォントサイズを下げても構いません。

1. 研究者の基本事項

(1) 学校名、所属学部等

令和4年10月1日現在の、研究者が所属する私立大学等名、及び研究者が所属する研究科名・学部等名を記入してください。

(2) 職名、年数

令和4年10月1日現在の、研究者の職名を記入してください。

講師の場合のみ、当該学校法人に講師として採用されて現在何年目であるか記入してください。年数の計算においては、産休、育休の期間を除外してください。助教、ポスト・ドクターについては、年数の記入は不要です。

(3) 性別

「男」又は「女」と記入してください。なお、「女性研究者奨励金」の応募対象は女性のみとなります。

(4) 氏名、生年月日

研究者の氏名、フリガナ及び生年月日を記入してください。

学内で通常使用している通称名（旧姓等）での記入も可です。

生年月日を入力すると、「年齢」欄に令和4年10月1日時点の年齢が自動表示されます。

2. 研究課題等

(1) 研究課題（副題）

研究課題は原則として **30 字以内**とし、補足が必要な場合は **30 字以内**で副題をつけてください。

(2) 研究区分等

13 頁の別表 1「若手・女性研究者奨励金 審査部門別系、応募研究別分科表」から選択して記入してください。

原則として、選択された「審査系」により、審査を行います。

- ①「審査系」は、[別表 1] 審査部門別系の中から、希望する「審査系」を選択し、その系に「レ」を入力してください。
- ②「審査系」は 4 つの中から 1 つ又は 2 つ選択できます。
- ③当該研究課題において、その「審査系」を選択した理由（又はその「審査系」で審査を受けたい理由）を記してください。なお、本項目も審査要素の一つとなります。
- ④「研究分科」については、審査の際の参考とします。[別表 2] 応募研究別分科表から、応募研究課題に該当するものを **1 つ記入**してください。なお、複数の分科にまたがる場合は、当該研究に占める割合が最も多い分科を **1 つ選択**し、記入してください。

(3) キーワード

研究の内容を端的に表す語句を、3 つ以内で記入してください。語句の前には、①、②、③と番号を付してください。

3. 2023 年度奨励金（40 万円）の使用予定

- (1) 採択され、本奨励金が交付された場合に、当該研究にかかる経費の使用予定を記入してください。

〔例 ×：パソコン購入 → ○：□□の解析用パソコン購入

×：出張旅費 → ○：□□の調査のための福岡出張旅費〕

- (2) 金額は概算で、**千円未満を切り捨てて記入**してください。
- (3) 合計が 40 万円となるようにしてください。

※本奨励金は、**当該応募研究に直接要する経費として所属学校が支出するものみに使用**できます。

4. 研究倫理にかかる手続き

生命倫理・安全対策の観点から、法令等に基づく手続きが必要な研究を扱う場合は、学内の委員会等の手続きについて記入してください。

審査にあたっては、所属学校名や研究者名等の欄を伏せて行います。本欄において、所属学校名が明らかにならないようご注意ください。

(例:「〇年〇月〇日 学内倫理審査委員会において承認 承認番号 00000」など。)

なお、手続きを必要としない研究の場合は「不要」又は「該当なし」と記入してください。

※12頁「生命倫理・安全にかかる指針等について」もご確認ください。

〔様式 2-1〕

- (1) MS 明朝、11 ポイントで記入し、1 ページに収めてください (ページは増やせません)。
- (2) 強調したい部分にアンダーラインを付すことや、図や表の挿入も可能です。ただし、審査にあたっては、公平性の観点から、すべてモノクロ印刷で行いますので、ご了承ください。
- (3) 審査にあたっては、下段の所属学校名や研究者名等の欄を伏せて行います。本文において、所属学校名や研究者名等が明らかにならないようご注意ください。

研究目的

当該研究に取り組む動機や問題意識、明らかにしたい事項が分かるように、ポイントをしぼり具体的に記入してください。

〔様式 2-2〕

- (1) MS 明朝、11 ポイントで記入し、2 ページ以内に収めてください。
- (2) 2 ページ目を作成の際は、ページごとに下段に学校名等の欄を設けて記入してください。
- (3) 強調したい部分にアンダーラインを付すことや、図や表の挿入も可能です。ただし、審査にあたっては、公平性の観点から、すべてモノクロ印刷で行いますので、ご了承ください。
- (4) 審査にあたっては、下段の所属学校名や研究者名等の欄を伏せて行います。本文において、所属学校名や研究者名等が明らかにならないようご注意ください。

研究計画・方法

当該研究の研究計画・方法の概要を簡潔に記述してください。

また、令和 5 年度 (2023 年度) の計画を具体的に記入してください。当該年度の計画の記入にあたっては、1 年間という限られた期間の中で、何をどこまで明らかにするか、期待される研究成果等を含めて記入してください。

〔様式 2-3〕

- (1) MS 明朝、11 ポイントで記入し、1 ページに収めてください (ページは増やせません)。

- (2) 強調したい部分にアンダーラインを付すことや、図や表の挿入も可能です。ただし、審査にあたっては、公平性の観点から、すべてモノクロ印刷で行いますので、ご了承ください。
- (3) 審査にあたっては、下段の所属学校名や研究者名等の欄を伏せて行います。本文において、所属学校名や研究者名等が明らかにならないようご注意ください。

研究の特色、独創性

当該研究の特色や独創性、将来的な発展性等が読み手に伝わるように分かりやすく工夫して記入してください。

その他、当該研究に関するアピールを記入してください。

○ 事務担当者名簿

本事業団からの問い合わせに、対応・説明のできる事務担当者の氏名、連絡先電話番号等を記入してください。

なお、電話番号については、できるだけ代表番号ではなく直通番号を記入してください。

○ 応募書類 記入チェックリスト

記入誤り等の多い事項について、チェックリストにまとめてあります。提出前に最終的な確認をしてください。

○ 提出期限 令和4年10月28日（金曜日）

○ 提出先 私学事業団電子窓口

生命倫理・安全にかかる指針等について

ライフサイエンスに関する研究については、生命倫理・安全対策の観点から法令や指針等により必要な手続き（機関内の倫理審査委員会の承認等）が定められています。法令等を遵守し、適切に研究を実施してください。

法令等による必要な手続きなど、詳細な情報は以下を参照してください。

- 文部科学省ホームページ 「生命倫理・安全に対する取組」
(<https://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/index.html>)

- 文部科学省ホームページ「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」
(<https://www.lifescience.mext.go.jp/policies/dobutsu.html>)

なお、法令・指針に違反して研究が実施されていることが判明した場合、奨励金の交付を取り消すことがありますので、ご注意ください。

※ 生命倫理・安全対策の観点から手続きを必要とする研究分野を扱う場合は、「研究計画調書」の〔様式1〕「研究倫理にかかる手続き」欄に、学内の委員会等の手続きについて記入してください。

なお、審査にあたっては、所属学校名や研究者名等の欄を伏せて行います。本欄において、所属学校名が明らかにならないようご注意ください。

(例:「〇年〇月〇日 学内倫理審査委員会において承認 承認番号 00000」など。)

若手・女性研究者奨励金 審査部門別系、応募研究別分科表

[別表1] 審査部門別系

人文・社会科学系
理工系
生物学系、農学系
医歯薬学系

注：[別表1] 審査部門別系は、若手・女性研究者奨励金の審査・選考にあたり使用するものです。
 なお、応募にあたっては「審査部門別系」は1つ又は2つ選択することができます。

[別表2] 応募研究別分科表

地域研究	教育学	総合工学	材料工学
ジェンダー	法学	生産環境農学	プロセス・化学工学
観光学	政治学	農芸化学	社会・安全システム科学
哲学	経済学	森林圏科学	健康・スポーツ科学
芸術学	経営学	水圏応用科学	生体分子科学
文化人類学	子ども学	社会経済農学	情報学基礎
史学	デザイン学	農業工学	計算基盤
人文地理学	科学社会学・科学技術史	動物生命科学	人間情報学
文学	文化財科学・博物館学	境界農学	情報学フロンティア
言語学	地理学	生活科学	環境解析学
心理学	科学教育・教育工学	神経科学	環境保全学
社会学	ナノ・マイクロ科学	実験動物学	環境創成学
数学	応用物理学	腫瘍学	社会医学
天文学	量子ビーム科学	ゲノム科学	内科系臨床医学
物理学	計算科学	生物資源保全学	外科系臨床医学
地球惑星科学	機械工学	基礎生物学	菌学
プラズマ科学	電気電子工学	生物科学	薬学
基礎化学	土木工学	人類学	看護学
複合化学	建築学	基礎医学	脳科学
	材料化学	境界医学	人間医工学

記入例

2023年度 XX研究者奨励金
研究計画調書

所属、職名等は、
令和4年10月1日時点
を記入してください。

講師の場合のみ、当該法人において講師として
採用されて何年目であるかを、記入してくだ
さい。

「男」又は「女」と記入
してください。
なお、女性研究者奨励金の
応募は女性に限ります。

1. 研究者の基本事項

法人番号	131999	学校法人名	東西学園		
学校名	東西大学				
所属学部等	○◇学部	職名	助教	性別	男
		年数	—		
フリガナ	ナンボク タロウ	生年月日 (和暦)	昭和61年1月2日	年齢	36歳
氏名	南北 太郎				

1986/1/2 又は S61.1.2
のように入力すると、
自動的に和暦で表示されます。

生年月日を入力すると
令和4年10月1日時点の
年齢が自動表示されます。

2. 研究課題等

研究課題 (副題)	○○○○の×××における◇◇◇◇分析 新たな可能性を秘める△△△△			研究課題、副題とも 30字以内としてください。 (副題はなしでも構いません)	
研究区分等	審査系	人文・社会科学系	レ 理工系	生物学系、農学系	医歯薬学系
	選択理由	○○○○・・・・ ・・・・	審査系を選択した理由を必ず 記入してください。	希望する審査系に「レ」を入力して ください。1つ又は2つ選択できま す。	
	※審査系については、公募要領13頁の別表1「若手・女性研究者奨励金 審査部門別系、 応募研究別分科表」の4つの系から、1つ又は2つ選択できます。 ※研究課題が当該審査系での応募がふさわしいと考える理由を記してください。 なお、本項目も審査要素の一つとなります。				
研究分科	複合化学	※研究分科は公募要領13頁の別表2「若手・女性研究者奨励金 応募研究別分科表」より選択してください。			
キーワード	①○○○○○、②◇◇◇◇◇◇、③△△△△△				

3. 2023年度奨励金の使用予定

使用内容	金額	金額 (円)
○○○解析装置の購入	180,000	10,000
実験用試薬 (○○○他)	120,000	
○○○発表のための学会参加旅費	50,000	
○○○の調査のための書籍購入費	40,000	
	合計	400,000 円

研究課題の内容を端的に表す語句を、
3つ以内で記入してください。
語句の前には①、②、③と番号を
付してください。

金額は概算で、千円未満を切り捨てて
記入してください。
また、合計が40万円となるように
してください。

4. 研究倫理にかかる手続き

令和4年9月10日	学内倫理審査委員会において承認	承認番号12345番	事業回 使用欄
-----------	-----------------	------------	------------

生命倫理・安全対策の観点から法令等に基づく手続きが必要な研究を
扱う場合は、学内の委員会等の手続きについて記入してください。
なお、手続きを必要としない研究の場合は、「不要」又は「該当なし」と
記入してください。

研究目的 ～動機、問題意識、明らかにしたい事項等について

○○○

MS 明朝、11 ポイントで記入し、1 ページに収めてください。
(ページは増やせません)

動機や問題意識、明らかにしたい事項等が分かるように
ポイントをしぼり、具体的に記入してください。

審査にあたっては、下段の学校名や研究者名等の欄を伏せて行います。
本文において、所属学校名や研究者名等が明らかにならないようにご注意ください。

「事業団使用欄」は、
入力や削除をしないでください。

法人番号	学校法人名	学校名	研究者名	事業団使用欄
131999	東西学園	東西大学	南北 太郎	999

研究の特色、独創性 ～当該研究の特色、独創性、発展性、その他当該研究に関するアピール

○○○
.....
.....

MS 明朝、11 ポイントで記入し、1 ページに収めてください。
(ページは増やせません)

当該研究の特色や独創性、将来的な発展性等が読み手に伝わるよう、
分かりやすく工夫して記入してください。
その他、当該研究に関するアピールを記入してください。

審査にあたっては、下部の学校名や研究者名等の欄を伏せて行います。
本文において、所属学校名や研究者名等が明らかにならないよう
ご注意ください。

「事業団使用欄」は、
入力や変更や削除をしないでください。

法人番号	学校法人名	学校名	研究者名	事業団使用欄
131999	東西学園	東西大学	南北 太郎	9 9 9

記入例

2023年度 XX研究者奨励金 事務担当者名簿

法人番号	131999	フリガナ	トウザイガクエン
		学校法人名	東西学園
学校法人本部所在地	〒102-9999 東京都千代田区富士見1-10-900		
学校法人連絡先住所	〒102-9999 東京都千代田区富士見1-10-990		

フリガナ	トウザイダイガク
学校名	東西大学
学校連絡先住所	〒102-9999 東京都千代田区富士見1-10-999

研究者名	南北 太郎
------	-------

今回の応募について、私学事業団からの問い合わせに対応・説明のできる方を記入してください。

事務担当者 (今回の応募について、私学事業団からの問い合わせに対応・説明のできる事務職員の方)

所属課・役職等	氏名(フリガナ)	連絡先	
研究支援課 課長	トウザイ イッペイ	TEL	03-3230-7319
	東西 一平	FAX	03-3230-8223
		E-Mail	ippeei@touzai-u.ac.jp
研究支援課 第一係長	シガク ニヘイ	TEL	03-3230-7320
	私学 二平	FAX	03-3230-8223
		E-Mail	shigaku@touzai-u.ac.jp
総務課 総務係 職員	ショウレイ サンペイ	TEL	03-3230-7316
	奨励 三平	FAX	03-3230-8223
		E-Mail	shourei@touzai-u.ac.jp

電話番号は、できるだけ代表番号ではなく、**直通の番号**をご記入ください。